

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

## 21. その他

### 文献

水上健, 丸山勝也, 山内浩, ほか. 芍薬甘草湯を大腸鏡前投与薬として用いる試みー浸水法を用いてー. *漢方と最新治療* 2006; 15: 69-76. 医中誌 Web ID: 2006142071

### 1. 目的

浸水法による大腸内視鏡前処置としての芍薬甘草湯混和液の有効性の評価

### 2. 研究デザイン

準ランダム化比較試験 (quasi-RCT)

### 3. セッティング

詳細な記載なし (著者は 1 専門病院)

### 4. 参加者

大腸内視鏡施行者で同意を得られた男性 42 名

### 5. 介入

Arm 1: 浸水法による大腸内視鏡前処置としてのツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒 1.25g を 100ml で溶解し、浸水法で注入する水の代わりに大腸鏡を挿入と同時に直腸内に注入する。21 名

Arm 2: ブスコパン 20mg 1A を大腸鏡挿入と同時に筋肉内注射する。21 名  
検査終了まで鎮痙を認めなかった症例を無効と判断し、両群とも 1 名ずつ削除した。

### 6. 主なアウトカム評価項目

結腸収縮輪の消失時間、再収縮を確認した時間を測定し鎮痙持続時間を比較する。  
大腸鏡挿入前、挿入後 10 分、の脈拍を測定し比較する。  
苦痛を 5 段階で評価し比較する。

### 7. 主な結果

鎮痙確認時間、疼痛スケールにおいて有意差を認めなかった。10 分後の脈拍上昇率においてはブスコパン群が有意に上昇していた。検査終了まで鎮痙作用が持続していたのは芍薬甘草湯群が 68.8%、ブスコパン群が 25.0%と有意差を認めた。

### 8. 結論

浸水法による大腸内視鏡前処置としての芍薬甘草湯混和液の使用は、鎮痙持続時間に関して有効である。

### 9. 漢方的考察

なし

### 10. 論文中の安全性評価

記載なし

### 11. Abstractor のコメント

大腸内視鏡の前処置としての漢方薬の可能性を示したすばらしい論文である。内視鏡による鎮痙時間の測定は視野に限定されているため、腸管全体の観察は困難である。透視などを併用することで、腸全体の観察も容易と思われる。大腸鏡浸水法以外での効果についての評価が期待される。

### 12. Abstractor and date

小暮敏明 2009.1.26, 2010.6.1